

事務事業名	地域公共交通緊急対策特別事業		所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	定住・公共交通G	
	施策名	〈13〉公共交通ネットワークの充実		担当者名	丹波 鉄也	
	目的・対象	公共交通機関利用者	意図	市内及び市外に向けて安全・便利に移動できる。		
	基本事業	〈036〉公共交通体系の確保		電話番号	0854-40-1014 (内線) 2323	
目的・対象	公共交通機関利用者	意図	公共交通機関を利用できる。			
予算科目			会計	0:1:10	款	0:1
			大事業名	公共交通総務管理事業		
			中事業名	地域公共交通緊急対策特別事業補助金		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民 路線バス利用者	補助金交付によりバス路線を維持・確保し、通学・通院などに必要な松江市・出雲市-雲南市間の移動手段が確保できる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R4 年度)	新型コロナウイルス感染症拡大(緊急事態宣言)に伴う移動自粛要請により、運賃収入が著しく減少した路線バス事業者に対し、島根県と松江市、出雲市、雲南市が協調して補助金を交付する。 対象路線:大東線(一畑バス)、三刀屋出雲線(谷本ハイヤー)、根波線(スサノオ観光)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 【特別支援】コロナ影響分(燃料費+人件費) 一畑バス 5.0ヶ月 谷本ハイヤー 3.5ヶ月 スサノオ観光 1.0ヶ月	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 運行実績・要望を踏まえ、タイヤ等の改善を図っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 一畑バス大東線:利用者数	人	51,160.0	50,480	52,721	-
イ 谷本ハイヤー三刀屋出雲線:利用者数	人	5,975.0	5,677	6,011	-
ウ スサノオ観光根波線:利用者数	人	3,262.0	2,963	3,249	-
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
●大東線(一畑バス株) 補助金 5,494千円 ●三刀屋出雲線(谷本ハイヤー) 補助金 820千円 ●根波線(スサノオ観光) 補助金 101千円	財源内訳	国庫支出金	千円	6,351	6,207	5,561	0
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			854	
事業費計		千円	6,351	6,207	6,415	0	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	補助金の交付により、現在も路線が維持できている。
② 事業実施するうえでの課題	新型コロナウイルス感染症拡大(緊急事態宣言等)に伴う移動自粛要請による運賃収入の減少に加え、原油価格の高騰により路線バス事業者の経営は悪化している。
③ 課題解決に向けた改革改善等	コロナ終息後もバス路線を維持していくため、路線バス事業者の経営状況に注視し、必要に応じて、引き続き経営支援を行っていく必要がある。